

# 全民連加盟市区町村 アンケート調査結果

平成 19 年 11 月  
全国民俗芸能保存振興市町村連盟

## アンケート調査の目的

このアンケート調査は、全国民俗芸能保存振興市町村連盟（以下「全民連」という。）に加盟する市区町村が、相互に連携して民俗芸能の保存振興に努めるうえで、また、他の市区町村の民俗芸能の保存振興への取組状況を把握するために必要な基礎的なデータとして収集したものです。

加盟市区町村の回答内容については既にデータ集として、各加盟市区町村に送付し、活用していただいています。

また、アンケート設問にある、全民連への要望等については今後の事業運営の参考とさせていただきます。

## 調査実施期間

平成19年1月19日から2月9日までを回答期限として実施しました。

## 対象市区町村

調査実施当時の全民連加盟市区町村214団体に対し実施しました。

## 最終回答数

最終的に147団体から回答いただきました。

アンケートの回収率にして68.7%でした。

## I 全民連加盟状況について

ここでは、全民連の加盟市区町村数や全国の市区町村に締める割合などを示しています。

平成12年度以降の全国の市町村数は、市が微増、町村が微減傾向でしたが、平成17・18年度にかけ、いわゆる「平成の大合併」により、その傾向に拍車がかかりました。

全民連の加盟市区町村数は微減傾向であり、平成17・18年度にかけて市町村合併の影響により大きく減少しましたが、加盟率は概ね横ばいで推移しており、概ね全国市町村の11%前後の加盟率を維持しています。

全国及び加盟市区町村数の推移（表）

### (1) 全国市区町村数の推移

年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
市	671	672	675	677	695	739	779	782
区	23	23	23	23	23	23	23	23
町	1,990	1,987	1,981	1,961	1,872	1,317	844	827
村	568	567	562	552	533	339	197	195
合計	3,252	3,249	3,241	3,213	3,123	2,418	1,843	1,827

市町村数の推移:総務省自治行政局HPより

### (2) 加盟市区町村数の推移

年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
市	103	101	97	92	95	116	124	122
区	5	5	5	5	5	5	4	3
町	178	174	176	170	156	106	64	58
村	65	67	67	66	59	36	20	20
合計	351	347	345	333	315	263	212	203

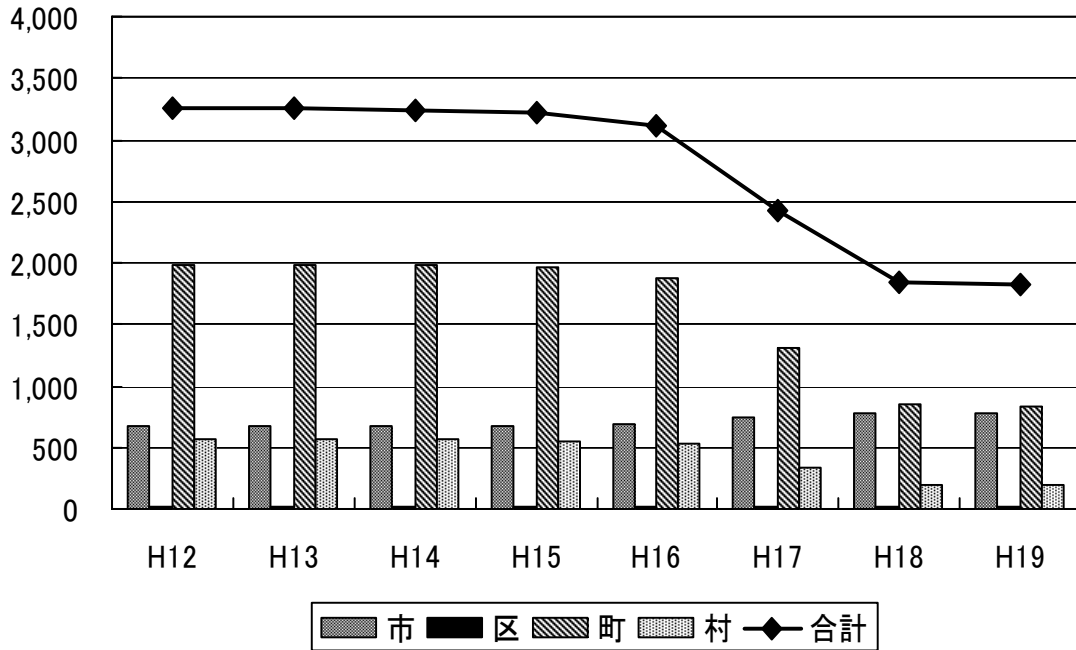
全民連総会資料より

### (3) 加盟率の推移

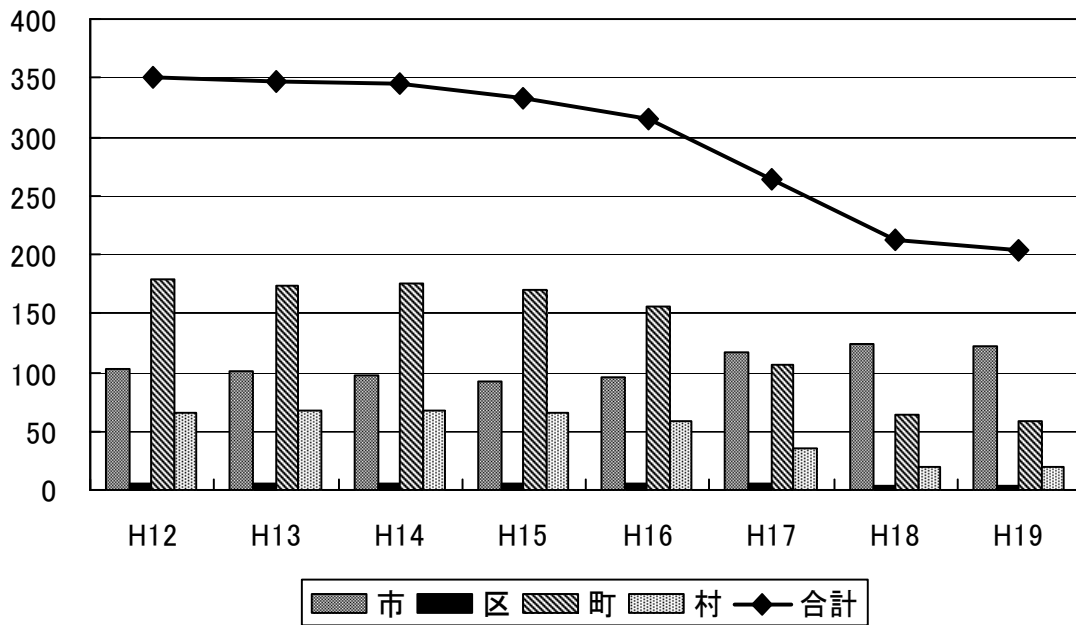
年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
市	15.4%	15.0%	14.4%	13.6%	13.7%	15.7%	15.9%	15.6%
区	21.7%	21.7%	21.7%	21.7%	21.7%	21.7%	17.4%	13.0%
町	8.9%	8.8%	8.9%	8.7%	8.3%	8.0%	7.6%	7.0%
村	11.4%	11.8%	11.9%	12.0%	11.1%	10.6%	10.2%	10.3%
合計	10.8%	10.7%	10.6%	10.4%	10.1%	10.9%	11.5%	11.1%

## 全国及び加盟市区町村数の推移（グラフ）

(1) 全国市区町村



(2) 加盟市区町村



## Ⅱ アンケート調査結果にみる民俗芸能の状況

ここからは、アンケート調査の回答内容をもとに、加盟市区町村における民俗芸能の状況について分析しました。

しかし、あくまでもアンケート回答に拠っていますので、市区町村によっては独自の判断で記入を省略するなど、実態とやや異なる場合がありますのでご了承ください。

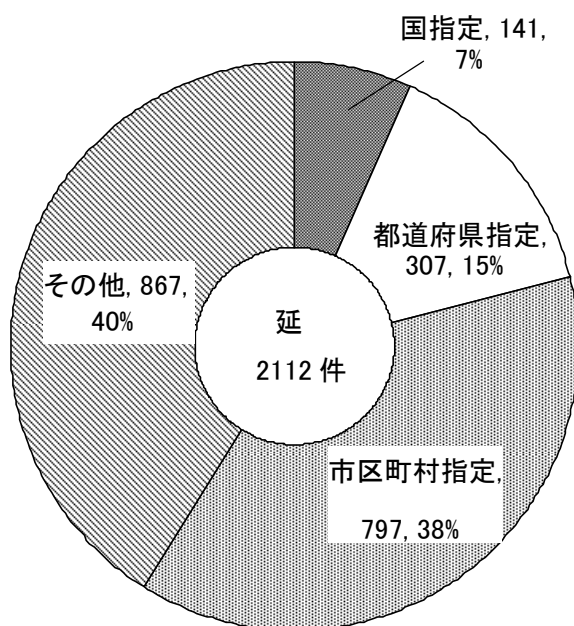
### 1 民俗芸能の分布及び支援状況

無形民俗文化財の指定については、国・都道府県・市区町村においてそれぞれ行なっていますが、回答いただいた市区町村におけるそれぞれの分布は下表のとおりでした。

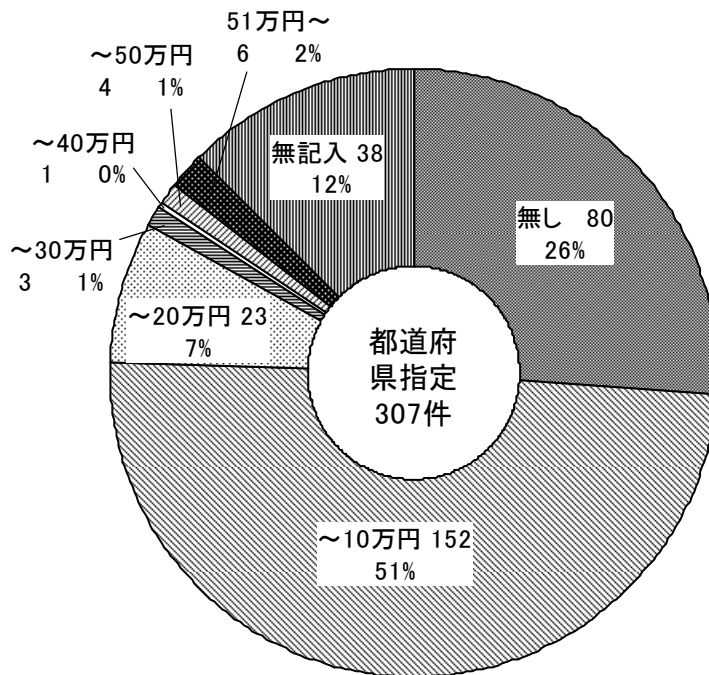
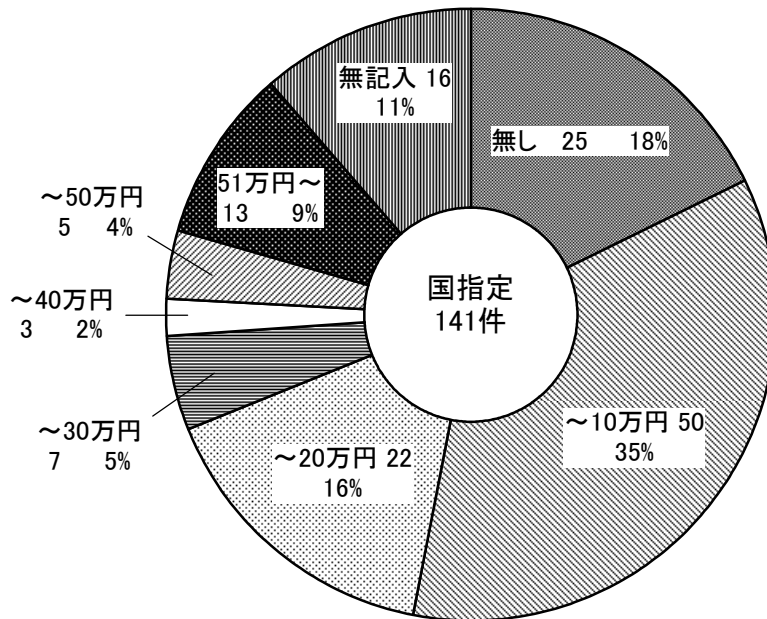
また、補助金による支援状況については、多くが1保存会あたり0～10万円の補助金を交付していますが、国指定や都道府県指定の民俗芸能に対しては補助金交付額が多い例も見受けられました。

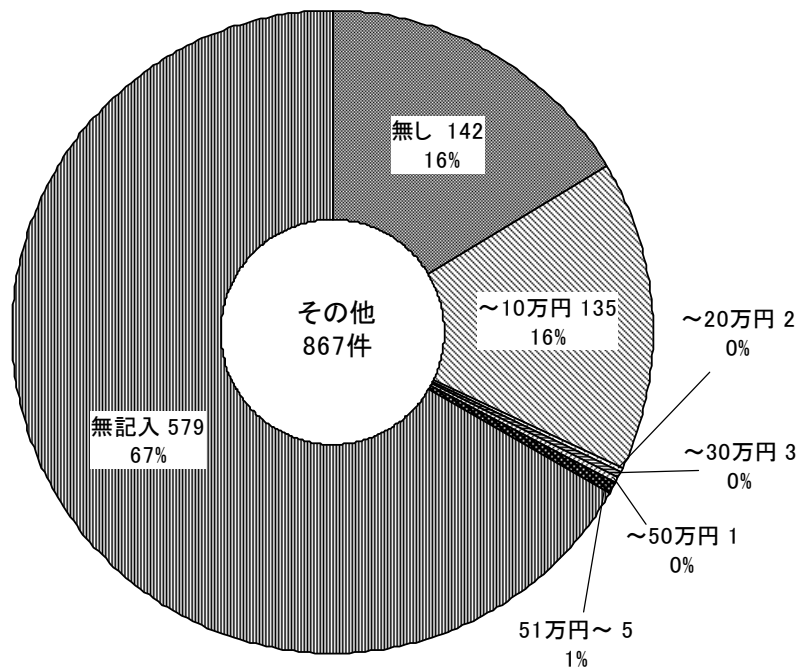
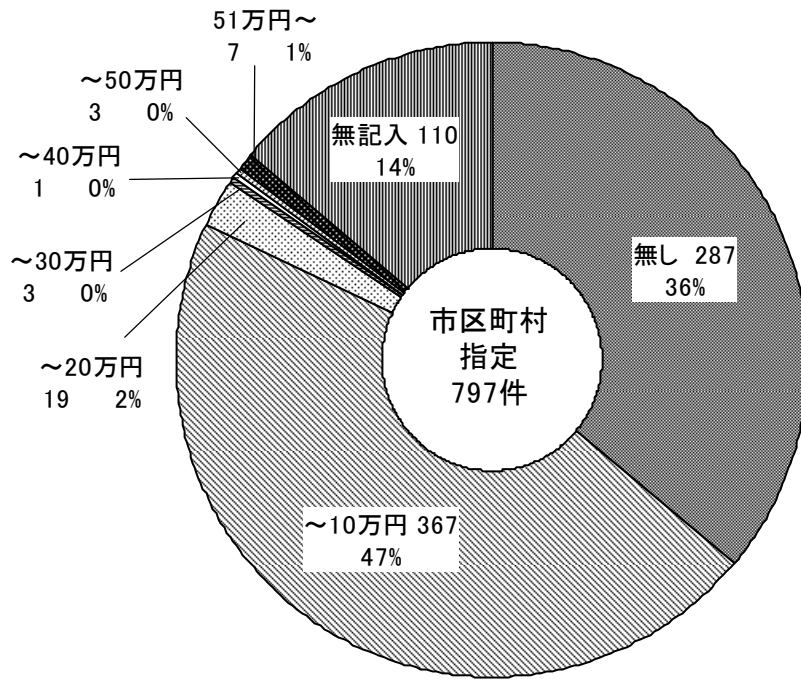
#### 設問1 加盟市区町村の民俗芸能について（回答自治体：147団体）

指 定 別	件 数
国 指 定	141 (7%)
都 道 府 県 指 定	307 (15%)
市 区 町 村 指 定	797 (38%)
そ の 他	867 (40%)
合 計	2112 (100%)



指定別	合計	補助金額							
		無し	～10万円	～20万円	～30万円	～40万円	～50万円	51万円～	無記入
国指定	141 (100%)	25 (18%)	50 (35%)	22 (16%)	7 (5%)	3 (2%)	5 (4%)	13 (9%)	16(11%)
都道府県指定	307 (100%)	80 (26%)	152 (51%)	23 (7%)	3 (1%)	1 (0%)	4 (1%)	6 (2%)	38(12%)
市区町村指定	797 (100%)	287 (36%)	367 (47%)	19 (2%)	3 (0%)	1 (0%)	3 (0%)	7 (1%)	110(14%)
その他	867 (100%)	142(16%)	135 (16%)	2 (0%)	3 (0%)	0 (0%)	1 (0%)	5 (1%)	579 (67%)





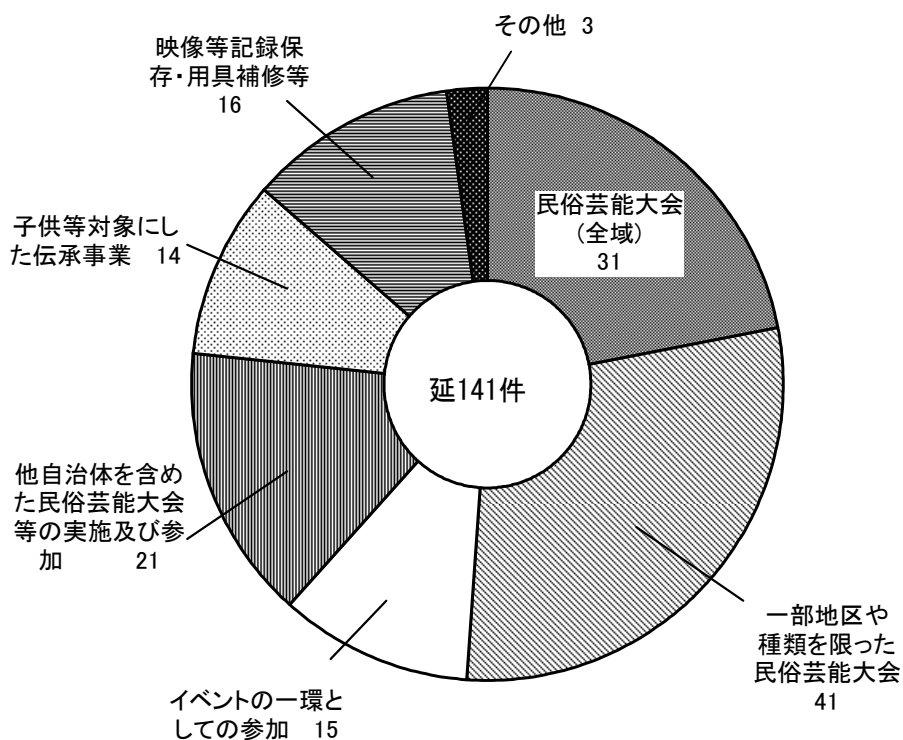
## 2 民俗芸能に関する各種事業の実施状況

平成18年度における民俗芸能関係の事業については、各種の公開事業や記録作成事業等を回答いただきました。

これを名称等をもとに、①市区町村全域の民俗芸能を対象とした公開事業、②市区町村の一部地域または神楽・囃子等種類を限定した公開事業、③市区町村全体のイベント（市民まつり等）への一部門としての参加、④他自治体（全国・都道府県含む）行事の実施または参加、⑤こども教室などの後継者確保のための伝承事業、⑥映像等による記録事業、⑦その他 の7区分で分類しました。

### 設問2 民俗芸能に関する事業について（回答自治体：78団体）

一部地区や種類を限った民俗芸能大会	41
イベントの一環としての参加	15
他自治体を含めた民俗芸能大会等の実施及び参加	21
子供等対象にした伝承事業	14
映像等記録保存・用具補修等	16
その他	3
<b>回答件数合計(延べ)</b>	<b>141</b>





### Ⅲ アンケート調査結果にみる加盟市区町村の状況

ここでは、アンケート調査における意見欄をもとに、加盟市区町村の状況や  
 全民連への要望等について分析しました。

#### 1 民俗芸能保存振興のうえで課題となっていること。

回答した自治体の多くが、高齢化・少子化・過疎化等により、民俗芸能の  
 担い手及び後継者の確保が課題であると認識しています。実際、行事の休止  
 を余儀なくされた自治体も見受けられました。

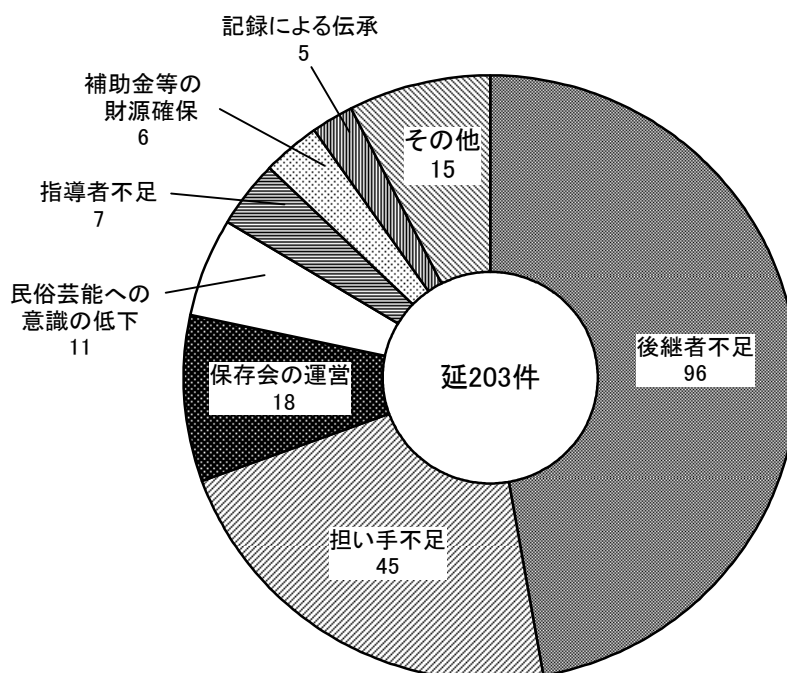
また、保存団体の活動についても運営資金や用具の材料確保などが課題と  
 なっています。

さらに、都市化や世代交代により民俗芸能に対する意識低下を懸念する自  
 治体もあり、保存団体相互及び学校行事との連携に力を入れる一方、将来を  
 見越して映像記録により次世代に継承することを模索している自治体もある  
 ことがうかがえました。

#### 設問3 民俗芸能保存振興の上で課題となっていること

(回答自治体：141団体)

後継者不足	96
担い手不足	45
保存会の運営	18
民俗芸能への意識の低下	11
指導者不足	7
補助金等の財源確保	6
記録による伝承	5
その他	15
回答件数合計(延べ)	203



## 2 合併を行なった市町村における民俗芸能への影響

前出「全民連加盟状況について」で示したように、平成 17・18 年度にかけて市町村合併が大きく進みました。これによる民俗芸能への影響としては、プラスの面とマイナスの面がありました。

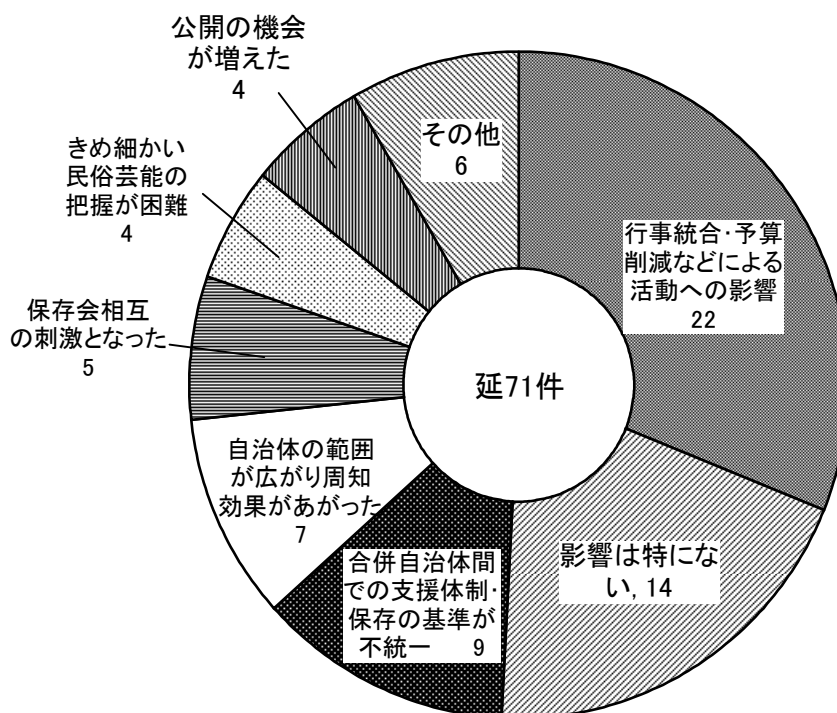
プラスの面としては、合併により区域が広がり、公開する機会が増えたり、PR 効果があがった。さらに保存団体相互が刺激し合い、活動が活発になったという意見がありました。

一方マイナスの面としては、合併前の自治体間の支援体制の違いが残っていることや、支援体制を統一したために補助金が削減された（低額の方にあわせた）、行事の統合により出演機会が減った、などの状況がありました。また、区域拡大により民俗芸能及び保存団体を全て把握することが困難となり、保存団体との意思疎通に不便をきたしている自治体もありました。

### 設問 4 合併を行なった市区町村について、民俗芸能への影響

(回答自治体：63 団体)

行事統合・予算削減などによる活動への影響	22
影響は特にない	14
合併自治体間での支援体制・保存の基準が不統一	9
自治体の範囲が広がり周知効果があがった	7
保存会相互の刺激となった	5
きめ細かい民俗芸能の把握が困難	4
公開の機会が増えた	4
その他	6
<b>回答件数合計(延べ)</b>	<b>71</b>



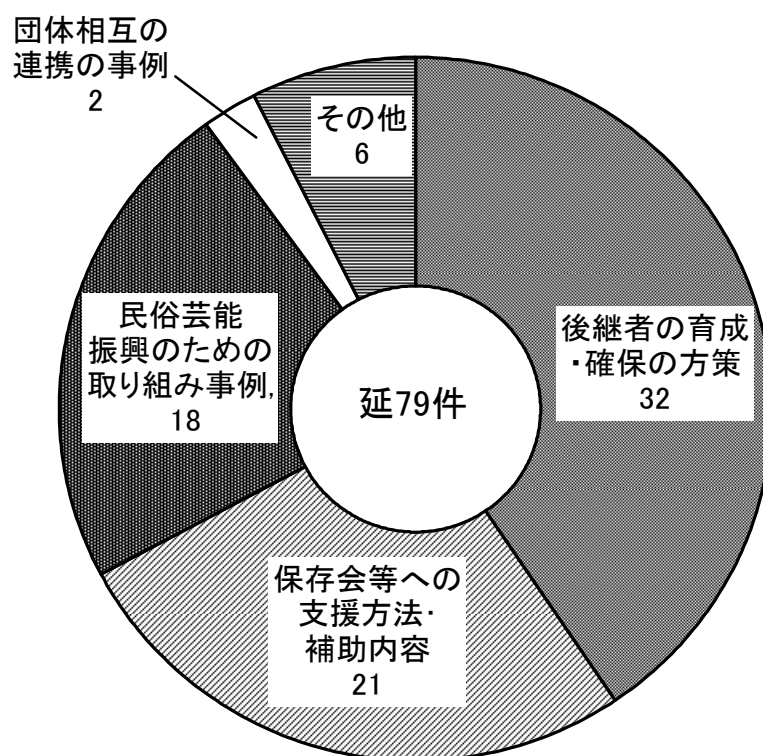
### 3 他の市区町村に聞いてみたいこと

この設問に対しては、前出1で示した民俗芸能保存振興における課題に対し、どのように対処しているかを知りたいとした回答が大半を占めました。具体的には、後継者問題の他、保存団体への具体的支援内容、補助金以外の振興策などがありました。

#### 設問5 その他意見～他市区町村に聞いてみたいこと等

(回答自治体：68団体)

後継者の育成・確保の方策	32
保存会等への支援方法・補助内容	21
民俗芸能振興のための取り組み事例	18
団体相互の連携の事例	2
その他	6
<b>回答件数合計(延べ)</b>	<b>79</b>

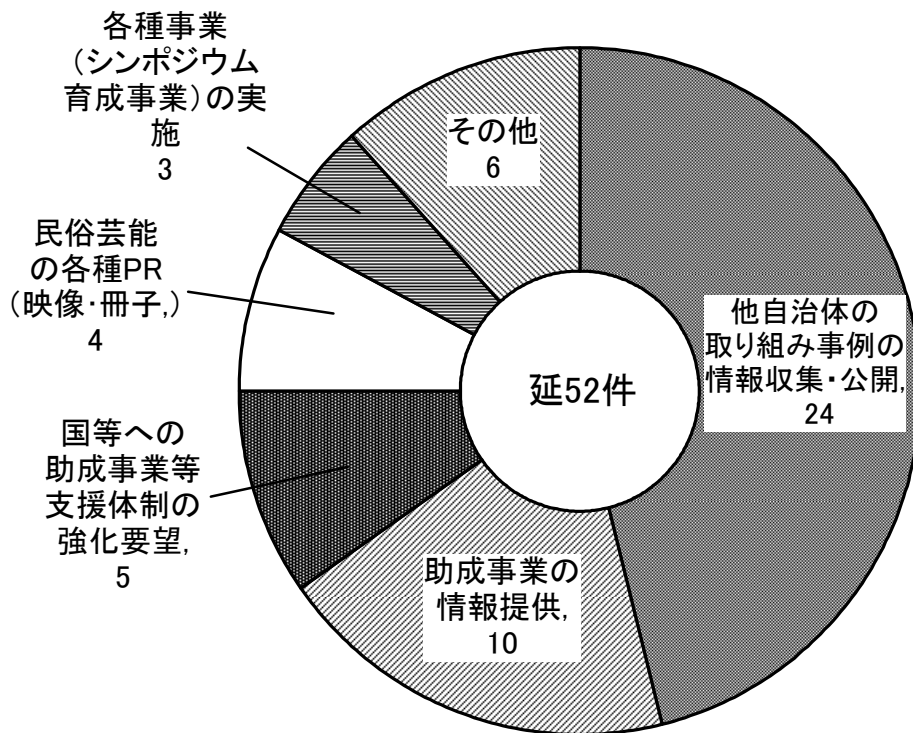


#### 4 全民連についての意見

全民連の事業についての要望・意見については、前の設問を受け、他自治体での取組状況の情報収集・提供を望む意見がもっとも多く、ついで国の助成事業の情報提供や支援強化の働きかけなどを要望する意見がありました。これら意見については、今後の連盟事業の参考とさせていただきます。

設問6 全民連についてのご意見（回答自治体：47団体）

他自治体の取組み事例の情報収集・公開	24
助成事業の情報提供	10
国等への助成事業等支援体制の強化要望	5
民俗芸能の各種PR(映像・冊子)	4
各種事業(シンポジウム、育成事業)の実施	3
その他	6
<b>回答件数合計(延べ)</b>	<b>52</b>





全民連加盟市区町村アンケート調査結果(主な意見)

平成19年5月

※複数意見があるため、回答数と意見合計は一致しない

設問3「民俗芸能保存振興の上で課題となっていること」(回答数141団体)		
6	補助金等財政支援の財源確保	各自治体とも、高齢化・少子化・過疎化等により、民俗芸能の担い手及び後継者の確保が最も課題となっており、実際、いくつかの自治体では行事の休止を余儀なくされている例が見受けられた。また、保存会の活動についても運営資金不足、用具の材料確保などが課題となっている。 さらに、都市化や世代交代による意識の低下が課題であり、保存団体間の連携策や学校行事との連携など、普及に力を入れる一方、映像による記録により次世代につなぐことを模索している自治体もあることが伺えた。
45	担い手不足	
96	後継者不足	
7	指導者不足	
18	保存会の運営(資金確保、用具の維持等)	
11	民俗芸能への意識の低下・存在意義の不明瞭化	
5	記録による伝承	
3	時代経過・世代交代による内容変化	
1	合併自治体間の格差	
3	無指定民俗芸能の把握及び保存振興策	
1	地域における振興策・PRの推進	
1	公開の場の確保	
1	保存団体間の連携	
2	学校統廃合の影響・学校行事との区分	
3	その他	
設問4「合併を行った市区町村において、民俗芸能への影響」(回答数63団体)		
4	公開の機会が増えた	合併により区域が広がることで、公開機会の増やPR効果があがった、さらに保存会相互のよい刺激となり、活動が活発になっているという意見がある。 一方では、合併前の自治体間の支援体制の相違が残っていることや、統一した結果補助金が削減された、行事統合により出演機会が減った、などのケースがある。また、区域拡大により民俗芸能の全てを把握しきれず、保存会との意思疎通に不便をきたしている自治体も見受けられた。
7	自治体の範囲が広がり周知効果があがった	
5	保存会相互の刺激となった	
2	団体の協議会を設立し加盟促進を図る	
14	影響は特にない	
9	合併自治体間での支援体制・保存の基準が不統一	
22	行事統合・予算削減などによる活動への影響	
4	きめ細かい民俗芸能の把握が困難	
1	保存会・地域との意思疎通が不便	
1	郷土意識の低下	
1	保存協議会へ不加盟の地域	
1	その他	
設問5「その他意見(他市区町村に聞いてみたいこと等)」(回答数68団体)		
32	後継者の育成・確保の方策	設問3で多くの自治体が課題とした後継者問題について他自治体の例が知りたいという意見が多い。その他、保存会等への具体的支援内容や補助金以外の振興策等、他自治体の取り組み内容を知りたいという意見が大半を占めた。
21	保存会等への支援方法・補助内容	
18	民俗芸能振興のための取り組み事例	
2	団体相互の連携の事例	
1	中断・休止の際の行政側の対応	
1	若年層への参加の働きかけ方	
2	指定文化財とする基準や民俗芸能相互の比較評価基準	
2	その他	
設問6「全民連についてご意見」(回答数47団体)		
24	他自治体の取り組み事例の情報収集・公開	全民連に対しては、設問4を受け、他自治体の取り組みの情報収集・提供を望む意見が最も多く、ついで国の助成事業の情報提供や、支援強化の国への働きかけなどを期待している意見が多い。
10	助成事業の情報提供	
5	国等への助成事業等支援体制の強化要望	
4	民俗芸能の各種PR(映像・冊子)	
1	加盟市区町村の交流の場設置	
3	各種事業(シンポジウム、育成事業)の実施	
1	加盟促進活動の継続	
2	総会開催と地域ごとの会合	
2	その他	